

# WHO ファクトシート

## ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)

### Universal health coverage

2016 年 12 月

#### 重要な事実

- ・全ての国連加盟国は持続可能な開発目標の一部として 2030 年までにユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成しようとすることに合意した。
- ・UHC は、有効な基本的保健医療サービス、すなわち、安全で効果的で誰もが負担可能な費用での医薬品やワクチンの利用、財政破たんリスクからの保護へのアクセス等を提供する。
- ・世界中で少なくとも 4 億人の人々が、一つ以上の基本的保健医療サービスへのアクセスを欠いている。
- ・保健医療サービスのための自己負担支出によって、毎年 1 億人が貧困においやられ、1 億 5000 万人が財政破たんに苦しんでいる。
- ・平均的には、各国の保健医療支出の約 32% が自己負担支払いとなっている。
- ・公平なアクセスを確かなものとするためには、サービスが人々やコミュニティのニーズに集中するために保健医療サービスがどのように財政裏付けされ、どのように管理され、どのように分配提供されるのかについて、変化することを求められている。
- ・持続可能な開発目標や UHC の目標達成のためには、2030 年までに 1800 万人以上の保健医療従事者の増加が必要となり、そのギャップは低所得国、低中所得国に集中している。
- ・世界的には、年間死亡者数 5600 万人の 3 分の 2 (3800 万人) が、未だ記録されていない。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Universal health coverage

ファクトシート原文は [こちら](#)